

狂牛病

狂牛病が薬で感染したというような報告はありませんが、薬の中には牛の一部を原料として作られたものがあります。医薬品での安全対策は数年前イギリスで狂牛病が出たときから始まっています。

対策の第一段階は狂牛病のある地域の牛を原料に使わせないようにしました。このことから、今回の日本での狂牛病発生では日本産の牛が原料の製品はすべて製造禁止回収が行われました。

次の段階では、世界中で、まだ病気を持っているかどうか安全が確認された国以外の牛は薬の原料にできないことになりました。さらにメーカーの主的判断ですが、牛の安全が確認された場合でも、他の動物を原料するよう準備をはじめたり、情報を厚め今後の対策をはじめたところもあり医薬品業界は大騒ぎです。

医薬品は、効果と安全というものさしでつかってもらうものです。過剰とも思える業界の動きも当然のことかもしれません。いまでは、疑いのある薬の回収作業も終了しましたのでご安心ください。

人間に狂牛病が多発した訳ではありませんが、回収という対策がすぐ行われるのも、薬剤師の管理下に薬があるからだと考えます。疑問の点はかかりつけ薬局の薬剤師にお尋ねください。